

◆アカバネ病に注意を

最近すっかり姿を潜めている「アカバネ病」。子牛の奇形児が生まれることで有名な伝染病ですが、奇形の胎児をべん出する母体の方も難産の危険があり、「もし感染しても、母牛が残ればいい」と安易に考えている畜主の方は注意が必要です。

まさか和牛を飼っている人でワクチン接種をしていないという方はいないとは思いますが…。酪農家の方、最近は輸入ザーメンの浸透、改良などにより、初産牛でも胎児が大きくなる傾向がみられます。その胎児の四肢関節が曲がっていたら…。アカバネ病は、ワクチン接種することにより防ぐことができます。しかしながら接種率は年々下がってきているそうです。アカバネ病から牛を守るためには、ワクチンの接種が必要なのです。



アカバネ病に感染の牛-特徴として、頭部が盛り上がり、頻繁にべろを出す。